

① 安全で、安心して過ごせる場所

A. 「安全の知識」と「安心の技術」を持ちあわせた指導者の存在

指導者（レクリエーション・リーダー）の存在により、子どもたちばかりか、大人までもがそのとりに…!! その内容は、下記掲載誌でも取り上げられるほど。レクリエーション・インストラクターが「あそびの城」のスタッフとして運営に携わることで、自然と子ども同士がすぐに仲良くなる雰囲気ができあがる!



(撥水)・・・『ゲームやスポーツを通じて、こどものコミュニケーション能力や主体性を引き出すのがねらい』

B. 地域住民の関わりから、日常生活にも目が届く安心感

「あそびの城」には、レク指導者以外にも地域の方々にも多く関わっていただいている。子育てを終えた主婦や、時間があるから何かやってみたいという方、こんな得意を持っているから何か関わらせてくれと言う方までも。地域に関わりを持ってもらうことで、普段町であったときも「あそびの城のおじちゃんだ！」

とか、「さ～ん!!」と子どもたちから声をかけられる。最近、子どもが被害に遭う事件が多発しているが、「あそびの城」の効果は、「地域の監視の目」としても現われてきている。



(抜粋)・・・『私の顔を見てくれたら、あいさつもしてくれるし、見守っていても変に思わないはず。』

C. 第二の人生、様々なバックグラウンドの方が集える仕組み

「第二の人生、地域で何か役に立ちたい!」と思っている方は驚くほど地域には存在している。しかも、そういった方々は、「その道のプロ」でもある。元大工ならばクラフトを、元システムエンジニアならばパソコン教室を、元営業マンであればおしゃべり、元ガキ大将であれば昔あそびを、といった具合にそれぞれの特性を活かした関わりがもてる。そこに「レクリエーション」というちょっとしたスパイスを振りかけてあげることで、活動として成立するようになる。一方では、そういった方々の「生きがいきり」、「健康づくり」、「新たな自己実現の場」にもなっていることにも気づく・・・。